（別添資料１）

事業所名　あいの放課後等デイサービス茨木

支援プログラム　（放課後等デイサービス）

作成日　令和6　年　11 月　1 日

法人（事業所）理念		ノーマライゼーションの実現「その人なりの生き方を」　多様な福祉サービスがその利用者の意思を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じた自立した日常生活において営むことができるよう支援します。			
支援方針		・障がい児が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、児童の身体及び精神の状況やその置かれている環境に応じて適切な指導及び訓練を行います。 ・遊びを通しての仲間関係づくり、生活習慣、社会性の獲得などの発達を支援し、社会のルールやマナーの習得を目指します。 ・児童と保護者の意見、人格を尊重し、児童、保護者の立場に立ったサービスの提供に努めます。 ・地域に密着し、市町村、障がい福祉サービス事業者等との密接な連携に努めます。			
営業時間		11 時　00 分から　18 時　00 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	発達の段階や特性に合わせ、来所時の支援や、食事、排泄の介助や支援を行います。 季節に合わせた衣服の調節を促します。 １日の流れがわかりやすいように、スケジュールを提示し、療育時間中の流れを作ります。			
	運動・感覚	気候の良い日は公園や散歩に行きます。 日々のレクレーションや個別の課題に、粗大や微細の運動、目と手の協応、空間認知等の要素を取り入れます。 感覚過敏や多動などにも個別に配慮します。			
	認知・行動	活動時のルール等を視覚的に提示します。活動の終了時間をタイマー等を使用して分かり易く伝えます。 スケジュールに時間を提示します。 発達の段階に合わせた個別課題の設定をします。			
	言語 コミュニケーション	丁寧で分かり易く肯定的に伝えます。日々の活動を通して、個人の特性に配慮しながら、他児と関わる機会を持ちます。 トラブル等があった時は、その間に介入し、双方の意見を聞き、状況を整理して、場に応じた対応を支援します。 視覚優位の場合、筆談をします。			
	人間関係 社会性	レクリエーションやおやつ、食事等を通して、挨拶の大切さや、ルールを伝えます。 他児やスタッフとの適切な距離感を伝えます。 他児との関わりの中で、他児を思いやる気持ちを育んでゆきます。			
家族支援		定期的なモニタリング、日々の送迎時や連絡ノートの内容などから、各種相談や困りごとなどの情報を得て、対応します。	移行支援	・学校、他デイサービスと利用者、保護者の情報交換、支援の統一。	
地域支援・地域連携		.学校送迎時に担任に話を聞いて、共通理解を深めたり、支援内容の連携を図ります。 ・買い物等学習時に周辺ショッピングモール等を利用します。	職員の質の向上	・新人研修　・法定研修　・各職員が受けた研修の周知 ・適切な支援提供のためのケース会議開催	
主な行事等		誕生日会　お正月遊び　お花見　夏祭り　ハロウィン関連行事　クリスマス会　卒所生お別れ会			